

第89回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について（有珠山部分の抜粋）

2001年2月以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では引き続き多量の火山ガスの噴出を伴う噴煙活動が継続しています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

有珠山では火山活動が低下し、マグマの供給は終息しましたが、小規模な噴出を伴う活動が、限られた地域で継続しています。

樽前山では地震活動が一時活発化し、火口の温度も高い状態が続いています。

岩手山では地震活動、地殻変動等に大きな変化はないものの、噴気活動は活発な状態が続いています。

吾妻山では低周波地震が発生するなど地震活動が活発になっています。

磐梯山では、山頂直下を震源とする地震、および浅い低周波地震が引き続き発生しています。

これらの火山では、今後も火山活動に注意が必要です。

1. 北海道地方

（中略）

4) 有珠山

- ・金比羅山火口群のK-B火口での小規模な噴出を伴う活動は、変動を繰り返しながらも、全体的には昨年に比べて小さくなってきています。この活動に伴う火山性微動の振幅、空振も小さくなってきています。
- ・西山西麓火口域では弱い白色噴煙と周辺での地熱活動が継続しています。
- ・地震活動は噴火前の状態に戻りました。
- ・西山西麓を中心とする地殻変動は、わずかな沈降に転じています。また、有珠山山体全体は収縮が続いています。
- ・これらのことから、マグマの供給は停止し、2000年3月に始まったマグマの活動は終息したと判断されます。
- ・なお、金比羅山火口群と西山西麓火口群では、同様の活動が当分の間継続すると考えられますので、これらの火口付近では引き続き注意が必要です。

5) 北海道駒ヶ岳

（以下略）

（全文を会報第79号に掲載）